

西日本研修センタ公開講座の実施模様

1.はじめに

西日本研修センタでは、総務省主催の2019年度「情報通信月間（5月15日～6月15日）」に合わせて、一般の方を対象に情報通信エンジニアリング事業について、理解をより深めて頂くことを目的に公開講座を開催しました。西日本研修センタで開催した公開講座の概要を紹介します。

2.実施概要

- (1) 講座名 「VR（バーチャル・リアリティー）による危険体感」
- (2) 実施日 2019年6月5日（水）
- (3) 参加者数 7名（専門学校講師・教育事業関係・情報通信メーカ等）
- (4) 内容

VR（バーチャル・リアリティー）機器を活用し通信設備工事での「安全向上への取組」を紹介する公開講座。現実に近い体感を通じて、危険をより強く認識することで事故防止につなげる。（写真1）



写真1-1 参加者集合写真



写真1-2 安全の取組み・VR概要説明

体感事例：「はしご昇降コンテンツ」

現実では体験できない「はしご高所からの転落」を再現し、転落防止機具の装着、梯子の立てかけ角度（75度）の確認等の重要性を認識する。（写真2）

他に、鉄塔作業体感、電源設備短絡事故体感を実施する。（写真3 写真4）



写真2 体感内容（物をつかんで、動かす、はなす、目視確認、はしごを昇る）



写真2-1 はしご昇降転落体感



写真3 鉄塔作業体感



写真4 電源設備短絡体感

3.参加者の主な感想等

- ・VRによる実際に近い体験ができて良い経験になった。
- ・現場での仕事は無いが、日頃から危険について考えるべきと気付いた。
- ・VRで実際に作業しているような感覚で安全について学ぶ事が出来た。
- ・安全帯の必要性、1つの手順ミスで重大な事故につながることを認識した 等。
- ・体験型の講座が良かった。

<要望等>

- ・実際の設備見学等の公開講座もやって頂きたい。
- ・次回も見学等があれば参加したい 等。

4.おわりに

西日本研修センタでの公開講座では、VRによる安全作業・危険体感を通じて、情報通信エンジニアリング事業について、理解を頂きました。また、安全に対する情報通信エンジニアリング協会の取組みについて、PRが出来ました。